

平成25年度 法科大学院入学者選抜試験問題

刑 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペン(鉛筆は不可)またはボールペンを使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 解答用紙は、3枚あります。2～3枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【刑 法】

下記の文章を読んで、設問に答えなさい。

市長Xと友人で飲食店を営むYは、市内で建設業を営むAから次期市長選挙の運動資金を調達することを共謀し、XがAから資金を受け取るかわりに、市営体育館建設工事の発注などについて便宜を図ることにした。そこで、YがXの意向をAに伝えたところ、Xに恩を売っておけば公共事業の取り扱いを拡大できるかもしれないと考えたAはそれに応じ、Yとの間で供与金額を300万円とすること、平成24年12月15日にYの経営する料亭で現金を受け渡すことを取り決めた。

同年12月14日にAの部下で事情を知らないZは、Aに呼び止められ、明日友人のYに荷物を手渡してきてほしいが、自分は急用で行けなくなったため代わりに行ってきて欲しいと依頼された。Zは手渡された菓子箱が不自然に重いこと等から、これは表に出せない金が入っているのではないかと考え、自宅で菓子箱の包装をとき中身を確認したところ、菓子の下に300万円分の札束が入っているのを見つけた。翌日、Zは何食わぬ顔をして菓子箱をYに渡すとともに、300万円を全額競馬に使い込んでしまった。

問1 XおよびYの罪責を定める上で法的に重要な事実を簡潔に指摘しなさい。(10点)

問2 Zの罪責を定める上で法的に重要な事実を簡潔に指摘しなさい。(10点)

問3 Yは、Xと共に同じ罪責を負う可能性があるが、その場合にYに何らかの罪責を問うことができる総則上の根拠となる規定を挙げなさい。(5点)

問4 以上の回答を踏まえて、最終的な結論として、XおよびY、Zの罪責はどのようなか、あなたの考えを論じなさい。ただし、特別法違反の点は除きます。(55点)